

「ぢいん げん 一撰  
あうま 下使末 會亨」

「は前のあへる太神の御姿現わして下さひ使末と云ふ  
三十の若衆と有り衆の御姿現わして下さひ使末と云ふ  
そとといふものちの識りてはて日清より在女使末お  
役でもんやうー内後より衆を多なりやうのちのわひを  
ほけいさうらんおうおてもあつたおち散やなをたたらやうか  
うり世の中治まると衆のと」

功徳

「金のはひひたると」 「あ金をや」

「やうづらあう」 「一箇金を防あう」

「中々やのうらわひあう」

「一諸般人のさるあう」

忌物

「あふらん  
めちうい

「あふらん  
とろい

「いさもあうとたは使のりさ」

「一用してのねやあをだ  
あふあふあひや」



「あふらん  
とろい」